

医療現場で自死に対応するための ワークショップ

主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会

～自死を減らす為に医療者が出来る事～

研修概要

当法人では、平成23年から救急医療の現場と精神科医療の現場に従事する人を対象に『自死を減らす為に医療者は何が出来るか』をテーマとしたワークショップを開催しております。

本年度は、1/25：泉谷クリニック院長の泉谷閑示先生、3/22：国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦先生をお招きし、『自死を減らす為に医療者が出来る事』をテーマとしたワークショップを開催いたします。

自死は、医療者が向き合わねばならない問題です。

是非、多くの関係者のご参加をお待ちしております。

ワークショップ：
自死に医療者がどう向き合うかを考えるセミナー

日時：2015年1月25日（日）
10時～17時

会場：仙台市医師会館 5階

講師：泉谷閑示先生

対象：精神科医療に従事する方
（医師、看護師、心理士、
ケースワーカーなど）

参加費：無料 定員：50名

締切：1月16日（金）

本ワークショップは終了しました

ワークショップ：
故意に自分の健康を害する
人にどう向き合うかを考える

日時：2015年3月22日（日）
11時～17時

会場：仙台市市民活動サポート
センター 6階

講師：松本俊彦先生

対象：医療に関係する方
（医師、看護師、心理士、ケー
スワーカー、救急救命士など）

参加費：無料 定員：50名

締切：3月21日（土）

お問い合わせ・お申込み方法：電話又はメールでお申込みください

Tel:070-5548-2186 Mail:griefoffice@gmail.com

※メールでお申込みする際は、件名に【1/25、または3/22研修申し込み】、
本文に【氏名・所属・電話番号】を明記の上、送信してください。



講師プロフィール

上記QRコードのご利用も可能です ↑ ↑

泉谷 閑示（いずみや かんじ）先生

泉谷クリニック院長。東北大学医学部卒業。大学時代に、音楽理論や作曲法の個人教授を受ける。東京医科歯科大学医学部附属病院、財団法人神経研究所附属晴和病院等に勤務したのち渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院に留学。同時に、パリ日本人学校教育相談員を務めた。帰国後、新宿サザンスクエアクリニック院長等を経て、現在、精神療法を専門とするクリニックを開院。東京工科大学兼任講師。



松本 俊彦（まつもと としひこ）先生

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、自殺予防総合対策センター副センター長、薬物依存研究部診断治療開発研究室長。佐賀医科大学医学部卒業後、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部付属病院精神科、国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部などを経て、2007年より同研究所自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長。2008年より薬物依存研究部室長を併任、2010年より現職。



会場案内

仙台市医師会館 5階

〒984-0806 仙台市若林区舟丁64-12

電車：地下鉄河原町駅下車 北1出口から徒歩3分

バス：舟丁バス停下車 仙台駅方面行きバス停から徒歩1分 長町方面行きバス停から徒歩3分

駐車場：駐車スペースに限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください

仙台市市民活動サポートセンター 6階

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

電車：JR仙台駅西口から徒歩約15分（約1.1km）・地下鉄広瀬通駅西5番出口すぐ

バス：市営バス「商工会議所前」徒歩3分

※サポートセンターには、駐車場・駐輪場はございません 公共交通機関をご利用ください

主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会

後援：宮城県精神保健福祉センター、仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）、
宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県精神科医会、宮城県立精神医療センター、
仙台市立病院、国見台病院（申請中）